

ペットのコンビニぷちぷち

ゆ かわ よし こ
湯川美子 代表



湯川代表ご夫妻

生体を扱わないペットショップ

阪急塚口駅の北に「ペットのコンビニぷちぷち」はある。生体を扱わない、ペットフードやおもちゃなどのペットグッズを扱う店だ。店舗は少し奥まわっていて、犬たちの足跡がついたアプローチをたどっていくと、猫作家ゴーあや氏たちが描いた壁画が迎えてくれる。

代表は、自らを「お節介で世話焼き」という湯川美子氏。調理師、愛玩動物飼養管理士の資格を持つ。夫の「菓子工房ぷちぷちアンサンブル」と店舗をシェアし、ペットと一緒にティータイムを楽しめるカフェスペースもある。

「ぷちぷち」は塚口さんさんタウン3番館地下にあったペットショップを引き継いだものだ。経営の引き継ぎを持ちかけてくれた方の熱意に共感し、接客・販売も嫌いではなかったものの、当時は子どもたちも手がかかり、親の介護もあったため、別の方にオーナーとなってもらい、パートのスタッフとしてスタートをきった。2012年、当時のオーナーの親の介護が始まったことをきっかけに、店舗・屋号を譲り受けて創業した。

2016年、さんさんタウン3番館の建替により、現在地に店舗を新築し、移転した。

ペットの食と健康に注目

移転後の最大の変化は、飼主とペットと一緒に来店できるようになったこと。湯川氏がやりたかったことを次々形にすることができるようになった。飼主からペットの食事相談をうけることが多いそうだが、新店舗では、ペットたちの体格なども見て提案ができるようになった。

カフェスペースを使い、講師を招いて飼育に関する勉強会など、イベントもできるようになった。そのひとつに、調理師として長く食に関わってきた湯川氏らしく、ペットの手作りごはん教室もある。ペットと一緒に色々なことを楽しみたいという飼主さんのニーズに応えた、ウクレレコンサート、季節ごとのペットの撮影会、アイシングクッキーをつくるワークショップなどもあり、好評だ。偶然ご縁ができた桂福丸氏の落語会など、内容はますます多彩になっている。

人や情報をつなぐ

湯川氏が積極的にイベントを開くのは、客どうしのつながりをつくりたいという思いからだ。イベントなどで顔見知りになっていけば、ペットのことで困ったことが起きた時に、何気ない会話の中で、ふと相談できるかもしれないし、つながっている誰かから解決のヒントがもらえるかもしれない。

「ぷちぷち」には獣医、災害救助犬指導手などの専門家とのつながりも生まれ、情報も集まりやすく、客のニーズをマッチングに、対面販売の強みも活きる。ペット用品店の枠をこえて、ペットと飼主の道しるべのような店になることが、湯川氏の理想だ。

企業データ

代表者プロフィール：50代・女性・長野県出身
創業：2012年
事業内容：ペット用品販売
営業時間：10時～20時。定休・水曜
所在地：尼崎市塚口本町1-15-10
電話：06-6226-7443
ホームページ：<http://sp.raqmo.com/puchipuchi/>